

「2015年度化学物質のQSAR/in silico活用セミナー」を開催しました。

日化協では、2016年3月17日(木)に、ベルサール東京日本橋において、「2015年度化学物質のQSAR/in silico活用セミナー」を開催しました。このセミナーは、QSAR(定量的構造活性相関)活用に向けての日化協の取り組みの中で、化学業界でのQSARの普及・活用を推進することを目的に定期的に開催しています。今回、約70名の参加があり、関心の高さが伺われるとともに、活発な質疑応答が行われました。

今回、以下の4テーマで講演がありました。

- ① 化審法の分解性・蓄積性評価における類推の活用  
独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 池永 裕 氏
- ② 富士フィルムにおける動物実験代替法と毒性予測手法の活用  
富士フィルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 日置 孝徳 氏
- ③ 環境分野の毒性予測研究の海外動向と事例紹介  
国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター 古濱 彩子 氏
- ④ 生態毒性予測手法の規制活用に向けての化学産業界の取り組み  
一般社団法人日本化学工業協会 化学品管理部 仲井 俊司 氏

今後も、日化協では、QSARの普及・活用に向けて、会員向けセミナー、国際機関対応と情報収集、行政機関との勉強会・意見交換、LRI(長期自主研究)での課題採択と研究推進等の活動を行っていきます。

